

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341075	こども文化 Child culture	入口 愛			1	選択	4前期

**科目の概要**

本学の教育目標と教育方針の下に(DP1)、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践しつつ、保育や教育に携わる者として、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般知識・技能を身に付ける(DP2)。また、保育や教育に携わる者に必要な、子どもの発達段階や子どもを取り巻く環境について理解することで、人々の日常生活を子育ての面から支援できることを目指す(DP4)。本講では、子どもの遊びや文化を、多角的な観点から掘り下げ、子どもの豊かな感性を育むために保育者・教育者として、どのように子どもの感性を磨き、伸ばすのかを考察、検討する。その過程で、社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を総合的に身に付ける(DP5)。また、児童文化に対する理解を深めることをとおして、保育者・幼稚園教諭・小学校教諭に不可欠な専門的知識・技能を身に付ける科目である(DP3)。

学修内容	到達目標
① さまざまな児童文化財の特徴とその活用方法を知ることによって、子どもの豊かな感性を育む方法を理解する。 ② 子どもを取り巻く環境を調査し、子どもの現状と課題を明確化したうえで、具体的な支援を考える。 ③ 保育者・教育者として豊かな感性をもつ子どもを育むための実践方法と心構えを考える。	① さまざまな児童文化財の特徴とその活用方法を知ることによって、子どもの豊かな感性を育む方法を考えることができる。 ② 子どもの現状と課題について明確化したうえで、具体的な支援を考えることができる。 ③ 豊かな感性をもつ子どもを育むための保育者・教育者としての実践方法と心構えを知り、将来の職業で活用することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例
---------------------	----------------------------

前に踏み出す力	主体性	到達目標に向けた課題を行うのに必要な知識や技術を得るために、参考文献・資料等を使って自己学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標達成に向かって、最後まで課題追究することができる。
考え抜く力	課題発見力	参考文献や資料、グループ活動等で得た情報を正確に整理し、課題を見出すことができる。
	計画力	
	創造力	課題についてさまざまな方向から柔軟に考え、自分なりの方法や見解を持つことができる。
チームで働く力	発信力	調べたり、考えたり、話し合ったりしたことを的確な表現で相手に伝えることができる。
	傾聴力	他者の成果を見たり聞いたりすることで他者の考えを知り、そのうえで自分の考えを構築することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻や無断欠席をせず、授業に集中することができる。また、提出物の期限を守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

- ・テキストで使用する資料等は授業で配付します
- ・【参考文献】川勝泰介ほか編著『ことばと表現力を育む 児童文化』2019年 萌文書林
- ・映像視聴（オープンエデュケーション）柳城短期大学「デジタル紙芝居ネット」(<https://www.kamishibai.net/play/>)

**他科目との関連、資格との関連**

「こども文化」は専門科目であり、幼・保領域の保育の内容・方法に関する科目の一部である。「こども表現（音楽Ⅰ、図画工作A）」「保育内容（言葉、健康、人間関係、環境、表現A・B、表現・演劇）」「こども文学」で獲得した知識・技能を活用し、その後に履修する「こども表現（図画工作B）」の基盤となる科目である。保育士資格との関連がある。

学修上の助言	受講生とのルール
子どもに関する話題に関心を持ち、各種新聞・文部科学省HPを読んで、子どもについての見識を深め、問題意識を喚起するように努める。 毎回の授業内容をノートに正確にまとめる。	遅刻3回で欠席1回と数える。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	30	①		✓	課題 児童文化財に関する課題を実践するにあたって、具体的な実践方法と子どもへの配慮・支援、それらの意図を指定の用紙に記入し、提出する。 ・評価観点 (獲得) 児童文化財の特徴を理解している。 (活用) 児童文化財の特徴をふまえたうえで、円滑に実践することができる。 (解決) 子どもの発達段階をふまえ、子どもの姿を具体的に描きながら実践することができる。
				②		✓	
				③		✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①		✓	成果発表 制作した児童文化財を少人数の学生の前で発表し、自身の実践を振り返り、次の実践へとつなげる。 ・評価観点 (獲得) 児童文化財の特徴を理解したうえで、適切なテーマや手順で制作できている。 (活用) 現場で実践することを前提に、円滑に実践できている。 (解決) 子どもの発達段階をふまえ、子どもたちが楽しみながら児童文化財を共有することができる。
				②		✓	
				③		✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) 到達目標に向けた課題を行うのに必要な知識について、参考文献・資料や文部科学省のデータ等を使って自己学修することができる。 (実行力) 目標達成に向けて、課題を最後までやり抜くことができる。 (課題発見力) 講義や文献、グループ活動等で得た情報を客観的に整理し、課題を見出すことができる。 (創造力) 授業内容を受け、自分なりの見解を持つことができる。 (発信力) 調べたり、考えたり、話し合ったりしたことを的確な表現で発表することができる。 (傾聴力) 講義や他者の意見をよく聴き、自分の見解を持つことができる。 (規律性) 授業に集中することができ、提出物の期限を守ることができる。 ・・・・上記の能力要素のレベルに則り評価する。		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S (秀) 学修内容のすべてにおいて十分な理解と主体的に課題を発見、解決へと取り組む姿勢が見られ、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価において、非常に優れた評価を得ることを基準とする。 A (優) 学修内容のすべてにおいて十分な理解ができおり、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が優れた評価であることを基準とする。	B (良) 学修内容が理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準(6割)以上を満たしていることを基準とする。 C (可) 学修内容がおおむね理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準(6割)以上を満たしていることを基準とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション(授業の進め方・評価方法等を知る) 子どもの頃の遊びを振り返る(子どもの頃の遊びを振り返り、子どもの自分にとって遊びはどのようなものだったのかを考える。考えたことをグループで共有する)	講義 グループワーク google classroomによる振り返りの提出	・授業の進め方、評価方法等を説明することができる。 ・子どもの頃の遊びについて振り返ることができる。	(予習)学泉ノートを読んで、学修に向かう心構えを確認する。 (復習)グループで共有した子どもの頃の遊びについて、AIを用いてまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	絵本の絵とことば(絵本の特徴、種類を知る、絵を読むとはどういうことかを知る)	講義 ペアワーク 振り返りのフィードバック google classroomによる振り返りの提出	絵本の特徴や絵を読むことについて説明することができる。	(予習)複数の絵本に目を通す。 (復習)絵を読む方法で絵本を探す。	100	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	絵本の絵とことば(絵を読む方法で絵本を読み、読み方をグループで共有する)	発表 グループワーク 振り返りのフィードバック google classroomによる振り返りの提出	絵本の一場面でも絵を読む読み方ができる。グループメンバーの発表を傾聴することができる。	(予習)絵を読む方法ができる本に目をおす。 (復習)発表した内容を自分のものだけでなく、グループメンバーの内容についてもAIを用いてまとめる。	100	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	絵本の絵とことば(子どもの読書を推進するアニメーションを知る)	講義 グループワーク 振り返りのフィードバック google classroomによる振り返りの提出	アニメーションについて説明することができる。	(予習)アニメーションについてAIを用いて調べる。 (復習)アニメーションに使用する絵本を探す。	100	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	絵本の絵とことば(アニメーションを考え、実践する)	発表 グループワーク 振り返りのフィードバック google classroomによる振り返りの提出	アニメーションを他者にアドバイスをもらいながら作成することができる。	(予習)アニメーションに用いる絵本に目をおす。 (復習)発表した内容を自分のものだけでなく、グループメンバーの内容についてもAIを用いてまとめる。	100	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
6	幼年童話について(特徴、役割、種類を知る)	講義 ペアワーク 振り返りのフィードバック google classroomによる振り返りの提出	幼年童話の特徴や役割を説明することができる。	(予習)幼年童話について、AIを用いて調べる。 (復習)指定された幼年童話を読む。	100	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
7	幼年童話について(幼年童話の世界をことばからイメージし、描く)	講義 振り返りのフィードバック google classroomによる振り返りの提出	挿絵のない場面をイメージすることができる。	(予習)指定した幼年童話を読む。 (復習)授業で取り上げなかった場面についても、ことばから物語世界をイメージする。	100	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
8	幼年童話について(保育・教育現場での実践を知る、幼年童話の世界を鑑賞する)	講義 発表 グループワーク 振り返りのフィードバック google classroomによる振り返りの提出	他者がイメージした幼年童話の世界を自分なりに鑑賞することができる。	(予習)視覚化されたことばからイメージした自分の物語世界を振り返る。 (復習)イメージの多様性を再確認する。	100	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ストーリーテリングについて(特徴、役割、種類を知る、おはなしを制作する)	講義 制作 ふり返りのフィードバック google classroomによるふり返りの提出	ストーリーテリングの特徴や役割、種類を説明することができる。	(予習) ストーリーテリングについてAIを用いて調べる。 (復習) 制作したおはなしを誦んじられるよう練習する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	ストーリーテリングについて(保育・教育現場での実践を知る、ストーリーテリングの実践をする)	講義 発表 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomによるふり返りの提出	制作したおはなしを話すことができる。かつグループメンバーがそれぞれ制作したおはなしを傾聴することができる。	(予習) 制作したおはなしを誦んじられるよう練習する。 (復習) 発表した内容を自分のものだけでなく、グループメンバーの内容についてもAIを用いてまとめる。	120	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
11	紙芝居について(紙芝居の特徴、演じ方を知る)	講義 映像資料の視聴 ペアワーク ふり返りのフィードバック google classroomによるふり返りの提出	紙芝居の特徴について説明することができる。	(予習) 紙芝居についてAIを用いて調べる。 (復習) 演じる紙芝居を探す。	120	主体性 実行力 傾聴力 規律性
12	紙芝居について(紙芝居を演じる)	発表 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomによるふり返りの提出	紙芝居を演じることができる。かつグループメンバーの紙芝居を観ることができる。	(予習) 演じる紙芝居を練習する。 (復習) グループメンバーの発表をとおして、自分の実践でも取り入れたい点をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
13	おもちゃについて(子どもにとってのおもちゃを考える、おもちゃの歴史を知る)	講義 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomによるふり返りの提出	子どもにとってのおもちゃについて考えることができる。	(予習) おもちゃの歴史について、AIを用いて調べる。 (復習) グループで共有した「子どもにとってのおもちゃ」について、AIを用いてまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
14	おもちゃについて(手作りおもちゃの種類、活用方法を知る、おもちゃを制作する)	講義 制作 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomによるふり返りの提出	適切な手順でおもちゃを制作することができる。	(予習) 手作りおもちゃについてAIを用いて調べる。 (復習) おもちゃの制作をする。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	おもちゃについて(おもちゃを制作する)	制作 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomによるふり返りの提出	おもちゃの制作において丁寧に作業できている。	(予習) おもちゃの制作をする。 (復習) おもちゃの活用方法について考える。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力